京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓▲五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城西署西小門通（電話六六二） 京城新報社

雜錄

漢城より

北韓山生

▲去十三日、安東縣、沙河鎭間に於て廣軌車輛の試運轉を爲したるに其結果頗ぶる良好、尚今日、同じ安奉線、其家堡子隧道延長三百九十六呎も開通せる由に御座候。

▲如斯にして日一日世界は縮少さるゝこととなり、それと反比例して日本の朝鮮の世界的交渉は擴大せらる、吾等は何ものにか追蒐けらるゝが如き心地致し候。

▲吾等は歐亞の公道に亞比利亞の荒野横はるを厭はず、多數法治國を通過し來りたる旅人に、一警察國を展覽せしむるを要とす、云ふ迄も無く上下千載人類進歩の階段は、今之れを東西到處に指點するを得べし、然れども我邦の勢力範圍に於て、人類進歩の低き階段を存するを示すを恥づ、更に松崎博士をして其が研學の資料として幼稚なる經濟組織を錄取せしめたる韓國現時の經濟狀態を推進することの甚だ遲々たるを遺憾とするものに有之候。

▲松崎博士が十八日夜經濟協會に於ける演説の一節に曰く、韓人は所有權といふ觀念乏しと、吾等は之れに左の言を附加せんと欲す、但し這は母國民に比して爾か云ふもの也と、何となれば半開國民の常態として、韓人に權利思想の乏しきは眞實なり、然れども韓人が有する權利思想中、最も秀でたるは其の所有權に對する思想なり、开が正當に行使され、或は尊重されつゝありやは疑問なれども、韓人に健訟の風ありといふは、歸する處彼等が所有權に對する思想の滿足を得が爲なれば也。

▲同博士又曰く、韓國に於ては、貨幣が貨幣としての働きを爲さず、何となれば貨幣は價格の尺度を示し、交換の媒介を爲すに非らずして納税の手段若くは貸借の用を爲すのみなればなりと然れども吾等の知れる處に依れば、韓人は貨幣の用を知らざるものにあらず、但彼等は近き過去數十年間、彼の葉錢の外は曾て信用ある貨幣を有せざりし也、故に彼等は貨幣を貯ふるよりも物品を貯ふるを以て安全なりとせり、隨て此る不信用なる貨幣は博士の所謂價格の尺度たるを得ず、交換の媒介も甚だ覺束無氣に試みられたり、然かも第一銀行券の發行され政府の保證あること周知せらるゝや、彼等は大に珍重し頗ぶる重寶がりて些の故障無く流通し價格の標準は一に之れに依れり、若し夫れ物々交換に至りては吾等在韓數年、屡々僻陬の地に出入せしも一度も之れを目睹したること無し、叙上の狀態なるを以て吾等は韓人貧乏の原因を經濟組織の缺點に歸するの説を妥當なりとする能はず、吾等は信ず、彼等が自給自足主義に馴されたるは一に惡政の結果にして、二にも惡政の結果なり而して其三は彼等が懶惰なるが爲めなりと、开も又遂に惡政の馴致したるものといふべきか、吾等の私言果して其を捉へ得たりや否、大方の高教を請ふものに候。（十九日）

雜報

飛行器と無線電流

●●●將來の恐る可き武器●●●

先頃佛國に於て魚形水雷をば無線電流に依りて遠距離より自由自在に操縱することを發明したる由は既に紹介する所ありしが茲に英國リヴアプールの技師トーマス、レーモンド、フイリツプスと云へる人は此程空中船をば無線電流に依りて遠距離より自由自在に操縱し得る方法を發明し近く倫敦とボドロームに於て其操縱の實況を觀覽に供したる由、即ち初めオヂトリユームの上なる中空に二十一呎許りのツエツペリン式空中船を靜止せしめ居りしが頓てフイリツプス氏が舞臺なる一の電鑰に一寸手を觸れて無線電流を送ると共に忽ちパチ〳〵と音して今まで死せるが如くなりし空中船は突如二十呎許りの高さに飛上り更にフイリツプス氏の電鑰を押すが儘に各種の運動を行ひつゝ遂にオルケストーラの上なる四十呎の中空に停止したり此時、フイリツプス氏は觀衆に向ひ「試みに諸君を家と想像し我小空中船を實用す可き實際大のものとせば余は居ながらにして諸君の家を破壞することを得可し」と言ひつゝッと電鑰を一打すれば件の空中船の下に吊下げられたる箱の板パッと開けて中より爆裂彈にはあらで紙製の鳥一羽フワリと觀衆の頭上に落下したりといふ尚ほ墺地利なる一技師は此の方法を飛行器に應用することを發明したりと云へり。

●鐵道貫通後の間島

間島の現耕地は凡そ六萬町歩にして其產出する農產物の數量は凡そ六万五千噸を平作とし其價格は凡そ二百萬圓と見て大差なきも交通不便なる今日の有樣を以てすれば假令多量の農產物林產物等を產出するも外に出して利すること難く穀類其他のものゝ價格非常に低廉にて購買力又甚だ少なきに反し遠く輸入されたる日用品は最も高價にして一般住民は惘れなる狀態にある事なるがかゝる僻地にて此儘にては何等の發展の望なき間島の沃土も一たび横貫鐵道の敷設さるゝあらば勃然として其の面目を改め來るべく今吉淸鐵道貫通後に於ける同地の模樣を豫測すれば其穀價が現價格の一倍八分以上騰すべきものと假定して此價格三百六十萬圓なるが故に其半額を輸出し得るものとすれば現今に比し一ヶ年八十万圓の利益を存ずべし又輸入貨物を一ヶ年百万圓と假定し其價格に於て平均三割の減價を來すものとすれば三十萬圓の利益あるべく其他畜類木材の輸出等にて利すること凡そ二十萬圓とすれば大約現今のまゝに於て百三十萬圓は一ヶ年中に利することゝなる然るに若し鐵道開通せんか其耕地は現今の數倍に上り從て數倍の穀類を輸出し得べく其他木材薪材畜類等の輸出も激增すべく從つて輸入貨物も之と同樣の進捗をなし結局間島全體の富力は今日の數倍に上る事盖し難事にあらざるべし

●全羅道の產業現況

全羅北道の現在戶數は十三萬八千其九分通りは農家にて產出米八十八万六千石麥二十万石豆八万石を產し副業としては養蠶製紙陶磁器業盛んに行はれ日本人の農業としては大場村に細川侯爵の大農場あり東山に岩崎家の經營に成るもの沃溝附近に大倉組の大農場ある等同道の農業は日を逐ふて進歩しつゝあり又全羅南道は二十五万戶其二十四万戶は農家にて日本人の農家二百八十戶あり全道の產出米一百萬石麥三十四萬石大豆九萬石雜穀十三萬石綿百二十

講談

大岡政談 越後傳吉

第二十七回　旭堂南陵講演

新「兎に角ヤア斯ういふと惡うございますが、眞影流の腕前が免許と目錄の二人揃つて道中をするんですから、マサカ商人で斯ういふ達人とは竊盜でも氣が着きますまい 傳「左樣々々 新「顫はねねでいつて下さい 傳「顫ふ積りぢやアございませんが、何となしに身體が細かく動きます 新「免許持が顫つちや眞價がない、ときに傳吉さん 傳「左樣々々 新「これだけの達人が揃つてるんですから、一度盜人に出合ひたうございますナ 傳「左樣々々 新「顫はずに〳〵餘計も出會ひたくないな五十人か八十人も來りやア多う過ぎるが、マア十四五人出て來りやア宜い、十五人出りやア免許の傳吉さんに八人受けて貰つて、乃公ア七人受けませう 傳「左樣々々 新「乃公の刀は井上眞海で能く斬れるうです、旦那のはまた古刀で來太郎國行と來て居るから、こいつアまた斬味が宜うございますナ 傳「左樣々々 新「そんな顫ふた聲を出しちやいけない、何うかして盜人に出合ひたいもので何となしに腕がブウ〳〵と唸ります 傳「左樣々々 新「目錄の腕が斬れ〳〵といふと、旦那の免許の腕も斬れ〳〵といひませうヤア旦那 傳「左樣々々 新「イヤこいつは恐らいものに出合ひました、彼所に居る彼の二人は彼奴が盜人で、そら御覽なさい、何所から見たつて彼の眼付きが斯うギヨロツトとして居ります、彼の野郎二人叩き斬てしまひませう、旦那、貴下見て居て下さい、乃公が行きますから、乃公に委して下さい、宜うございますか多寡の知れた二人ですから 傳「左樣々々 新「オウ、彼奴ア盜人に違ねなからう憚りながら眞影流の免許と目錄の腕前だ二人ながら其所動くな、打ッ斬てしまつてやる」サーッと近江屋新吉腰なる一刀を拔いてそのまゝ二人を望んで飛び込んだ、盜人の奴ら飛んだ野郎が來やアがつたと思つたか逃げろ〳〵といふので雲を霞と盜人の方ぢやア逃げた樣子 新「野郎待てッ、逃げちやアならねぞ、野郎待て〳〵」と大きな聲で待て〳〵といつて居るが、新助の身體は一寸も動かない譯もなく盜人の姿が見えなくなると 新「サア旦那 傳「ハイ 新「逃げませう 傳「逃げるので…… 新「先方の奴を呼んで脅どしてやつたんですから、此方も逃げませう、彼奴等仲間の奴を呼んで來て眞劍に來られちやア適ひません、先方の奴は屈強で此方やア商人、餘り強くもないから逃げることにいたしませう、二人で…… 傳「ハア 新「先方も逃げたから此方も逃げませう」こいつは打ッ突かりこございません 新「ハヽヽ、旦那骨が折れましたナ 傳「左樣でございます 新「辛つとマア危ねね所を助かりました、旦那のお蔭で…… 傳「滅相な、有難うございます貴下のやうな宜い方さ道伴れになりまして結構でございます、もう既でのことに私が足掛け四年滿三年の間、汗あぶら絞つて一厘のお金子から蓄めましたこの三百兩のお金子を彼の盜人達二人に奪られてしまふ所でございました、實は私は三百兩持つて居ります 新「エーッ、三百兩持てますッて 傳「ハイ 新「へーッ、大層なお金子と持つて居らつしやいますね、江戸でお儲けになつたんですか 傳「ハイ、江戸の吉原で、使ふべき所で使はずに儲けましたこのお金子は、魂が入つて居ります金子でございます 新「左樣でございますか、そんなに持て居なさるたア思はなかつた、三百兩でございますか 傳「ハー 新「左樣でございますかマア何しろ此所は松崎の宿ですが、此所で泊ることにしませう、こーッと何所が宜しうございませうナ、マア急いで歩いて行きやア何所かで泊れませう、旦那、お伴れになつて泊りませう 傳「ハイ、お前樣のお蔭で三百兩の大金は助かりましたから、今晩の旅籠代から萬事の所は皆な私等が持ますだ 新「マア、滅相な乃公もお前さんのお蔭です、乃公もお前さんに道伴れになつて貰つたからやまかんが利いたんで、一人ぢやア話が出來ない、お前さんと乃公は、お互ひでございます、ですから旅籠代を拂つたり、お禮をいつて貰つては濟みません

東京電報

▲條約廢棄通告

帝國政府は既定の方針に基き各締盟國政府に對し諸條約廢棄通告を爲せり

一、日英通商航海條約
日英追加條約及び附屬税目
日英死亡者財産保護に關する條約
二、日獨通商航海條約
日獨追加條約附屬税目
日獨領事職務條約
四、日伊通商航海條約
四、日白通商條約
日白領事職務條約
五、日西修交通商航海條約
六、日葡通商航海條約
七、日本瑞西修交居住通商條約
八、日蘭通商航海條約
九、日本瑞典通商航海條約
十、日諾通商航海條約

以上の中日英死亡者財産保護條約は卅三年十月二十五日實施せられ其他は何れも三十二年七月十七日より實施せられたるものなり廢棄通告の結果は前記諸條約何れも明年七月十六日限其効力を失ふものにて又租税に關係なき日印通商條約も西特別通商條約の如きは今回の通告により何等影響を蒙らず又廢止通告に及ばざる諸國通商航海條約は依然存續するものなり又廢止通商航海條約と其旨を一にせる日佛通商航海條約同追加條約及び附隨税目並に日墺通商條約は各々其規定により本年八月四日に至らざれば廢棄通告を爲す能はず隨つて日佛限定税率は明年八月三日迄依然存續するものなり又同上通商航海條約廢棄通告時期に付ては兩國政府見解を異にするが爲め目下協議中なり而して今回の廢棄通告に及びたる諸國に對しては帝國政府は直に新條約締結の談判を開始する筈也(二十日)

▲東宮の御精勵

皇太子殿下には暑中休暇中なるをも厭はせられず毎週定日には午前十時より村木武官長御陪乘を奉仕し參謀本部に成らせられ御執務の事あり十一時過ぎ還啓あらせらる(同上)

▲外相遞相伏奏

小村外相後藤遞相は昨日午前十時三十分參內何事か長時間伏奏する所あり正午過ぎ退出したり(同上)

▲タイムス記者

倫敦タイムス外交部記者ラハム氏は日清韓視察の爲め來る二十七日頃東京に到着すべし(同上)

▲農工銀行調査

大藏省にては各農工銀行の營業狀態並に改善すべき要點に就き觀察中なるが來月中に調査終了すべし(同上)

▲滿韓調査會議

政友會滿韓調査に關する調査會開會鳩山委員長以下出席先づ委員長より理事會に於て決定したる調査事項を報告し直に議事に附したるが滿場異議なく全部之れを決定し更に委員長より左の各項目に就き各委員を左の如く指命したり

一東洋移民集中可否の調査、山口熊野、渡邊勘十郎、田坂初太郎
一韓國合併問題並に合併前韓國と外國との間に締結せる條約效力及び日韓兩國間に於ける關税其の他の關係調査 岡崎邦輔、改野耕三、稲井三郎、長島鷲太郎
一滿州行政組織に關する調査 秋岡義一、高橋光威、遠藤良吉、村上先
一滿洲に關する條約幷に協約の變遷 小久保喜七、河村讓、横田源治

尙は理事は各特別委員會に參會する事とし委員長より暑中は各特別委員の調査を進捗する事に止め調査總會は臨時問題の起らん限り休會する事に滿場異議なく可決散會せり(同上)

▲八雲仁川着期

寺內統監搭乘の軍艦八雲は廿三日午前十時仁川に入港すべし(同上)

▲本野大使敍勳

日露協約締結の衝に當れる本野駐露大使は露國皇帝よりアレキサンダーチブスキー勳章を贈與せられたり(同上)

▲浦鹽韓人反對

浦鹽の韓人三百名は合邦反對意見書を桂首相に提出したり(同上)

▲支那海賊沈靜

澳門に於ける支那海賊は葡國軍艦の猛烈なる攻擊を受け多數の死傷者を出し沈靜に歸したり(同上)

▲武官恩給令改正

文官は增俸令に依り恩給を增加されたるも武官は各階級により其の金額を定めある爲め增俸の結果恩給增加する能はず文武官不公平なるを以て陸海軍大臣は來期議會に武官恩給令改正案を提出すべく立案中なり尙は同案成立の上は之れを既往四十三年度四月一日に溯りて効力を有せしめ以て文武官恩給の均衡を得せしむべしと(同上)

▲美術博覽會延期

羅馬万國美術展覽會は明年二月開會の筈なりしも都合により三月二十七日迄で開會を延期せり(同上)

▲河鰭子爵の葬儀

河鰭子爵生前の功勞を御思召され兩陛下より祭粢料として金七百圓を御下賜あり尙は二十日葬儀執行の際は勅使を差遣せられ幣帛を賜はりたり(同上)

雜報

韓皇の父皇勤謁

韓皇には二十二日午前十時三十分敦化門出御德壽宮へ行幸遊され暑中の御見舞と爲し午後二時還御あらせらるゝ由

統監の馬關出發

寺內統監一行は二十一日午前八時軍艦八雲に搭乘馬關拔錨仁川に向へる由其の筋に電報ありたり

統監着任と警戒

寺內統監着任に就ては當局官憲に於ても嚴重なる警戒を爲す筈にて京城仁川の兩驛は勿論京仁二十四哩の間には一丁に約一人位の割合にて憲兵警官を配置し苟も不逞漢の徘徊を許さずと

勅使は侍從院卿

韓皇は來る二十三日第三世統監寺內陸軍大臣仁川着入京に就き特に歡迎の意を表する爲め侍從院卿尹德榮を迎接勅使として仁川に差遣せらるゝ事に決定したりと

統監出迎者の注意

寺內統監は二十三日仁川發臨時列車(時間未定)にて入京するに付き出迎者は左記事項を能く注意すべしとなり

一、統監入京當時停車場プラットホームに入らんとする者は總て特定の入場券を所持すべし然らざるものは一切入場を許さず
二、各種の團體は代表者一名の外入場を許さず但し代表者と雖も場所の都合に依りては入場を許さゞることあるべし
三、仁川より統監の乘る臨時列車には鐵道管理局に於て發行する乘車許可證を携帶せざる者は乘車を許さず
四、入場券は前日警務總監部に於て之を交付す然らざるものは當日南大門及び仁川停車場の一定の場所に於て警察官之を交付す
五、乘車許可證は豫め統監府に於て之を交付す
六、學校生徒は南大門より韓國銀行前迄の間に於て西側に各種團體は同車側に便宜堵列し一般公衆は其後方に於て堵列すべし但し守備隊の整列を妨げざること
七、南大門より停車場の間及び本市街には一般公衆の集合堵列を許さず

●慶尙北道模範郡治

慶尙北道尙州郡は全韓中の模範郡に數へらるゝ所にて郡守精勵の結果として總ての治績能く擧り殊に主事則武定吉氏赴任後一層督勵せる爲め愈々模範郡の實蹟を認めらるゝに至りしが同郡には救荒豫備貯蓄規程の設けあり即ち各面洞の基本財產として救荒豫備のため金穀を貯蓄する制度にて其數量は一戶一升以上五升以內とし當時の相場により金圓を以て貯蓄することも得べく銀行及び郵便貯金として利殖を圖り其貯蓄穀は協議に依り利子付貸與を得る便法とも定め甚だ時宜に適したる者にて昨年秋季收穫時期より實行し內東、青東、外東、內北、年東、中東、西化、化西、北東切西の十面洞尤も熱心に右規約の實行を圖りつゝあり尙同郡には外に勤儉の美風を養成する目的を以て勤儉組合規約なるものを設け貯蓄金は非常災害又は疾病にかゝり止むを得ざる場合に組合長の承認を得て受戾す外一切引出得ざることゝし組合加入者は其標札を戶前に掲示し在り而して各郵便貯金通帳の裏面は郡守自から『夫勤儉樽節利用厚生之機關故所以勸民貯蓄者此也不見黃河之大平其深則細流合成也矣』と書き記し郡守以下郡衙員先づ貯金の範を示せるため是れまた案外の好結果にて逐月組合員の增加を見つゝありと

●感ず可き韓人郡守

慶尙北道善山郡守玄昌洙は赴任以來銳意郡政に努力し農事の改良に就ても自ら開墾に從ひ其家族をして養蠶を行はしめ或は養蠶傳習所を設け又は稚蠶共同飼育及製糸場を設立し更に私設苗圃を設け郡民に配付し或は又廢絕私立學校を復興して官立學校と毫も讓らざる成績を示めし山林濫伐の弊を嚴戒して郡衙附近の如き數年ならざるに鬱蒼たる靑山たらしめ治蹟大に見るべきものあり斯かる好成績を擧げ得たるは郡守率先の効にして堂々たる日本人官吏も爲めに遜色すある程なりといふ

●傳染病と衛生取締

追ひ〳〵暑氣となりて各種傳染病の流行する季節となりたれば警務總監部に於ては從來よりも一層衛生取締を勵行する由なるが本年は昨年に比し傳染病は特に多く日本に於ては三府及部岡愛知縣外九縣に於ける目下傳染病患者は實に六百三十一ありて昨年の今時に比すれば百六十名增加し韓國に於ては咸鏡北道を除く外目下全道に亘りて赤痢患者ありて益々蔓延の徵ある由なれば各自充分に注意すべきなり

●永同郡の貯金規約

忠淸北道永同郡は同道の要樞に當り薪材の大市場を有し薪の集散するもの莫大なるが今回農商工業の資金及び不虞の災害に對する準備として同郡主事三井菊次郎氏及鄭主事の主唱にかゝる面協同貯金規約と云ふを設け毎市日に集散する薪の一部を備荒貯蓄に供し且つ組合員は毎年春冬二期柴二負以上を採取賣却して此代金を總て郵便貯金として蓄積することゝなせりと

●檢擧留學生の處分

南部警察署に拘禁中の不逞留學生に對しては國友、今村兩警視主任となり訊問を進捗し居れるが彼等は未だ何等具體的に計劃したる譯にあらず一部不良等生に煽動されたるものらしく檢擧後今更の如く前非を後悔し居るものも尠からざれば大部分は後來を戒め放還せらるべしと

●恩賜金と物產陳列

內部は昨年韓皇の西韓巡幸の際產業奬勵の御思召を以て黃海道に千四十圓を御下賜相成りたる金額處分に就き詮議中なりしが今回在海州の美容室を修繕し物產陳列場と爲すに決し近々其工事に着手する筈なり因みに該建物は元公會用に供したるものにして其規模頗る宏壯なりといふ

●韓人寄附金の取締

韓人の寄附金募集に就ては從來韓國內部大臣と各主管大臣とに願出許可を受くる事となり居りしが右は將來統監府警務總長と韓國側各主管大臣と連署許可を與ふる事となりたり

●朴內相次官招待

內部大臣朴齊純氏は二十一日午後七時より宇佐美內部次官を正賓とし同部高等官一同を花月樓に招待し晚餐を供したりと云ふ

理事廳の廢止說

最近着內地新聞及當地各新聞の東京電報によれば政府は韓國行政整理の第一着手として現理事廳の廢止を斷行すべしといふ然かも廢止後日本人の行政機關を如何にすべきかに就ては毫も之を報道しあらざるが如し元來地方に於ける日韓人行政の統一に就ては何人も異論なき處にして既に地方行政調查委員會は十數回の審議討論を重ね詳細其將來を考究して之が結果は寺內統監の許に提出しあり而して該委員會は究極の斷案を爲さず唯だ其利害如何を比較論究せるものにして其中には理事廳問題なきにしも非ず然れども此場合に於ける日本人行政に就ては現觀察道官制を更改して彼是相待ち相依るを便とすべきが若し爾かする時は吾が權利を韓國に委託するの結果となり冠履顚倒の奇現象を呈すべきを以て寧ろ觀察道を廢して理事廳に包含するの論機宜に適せるものと認めたり則ち現行理事廳官制は或時機到達せば廢止さるべきも此場合には統監府も韓政府も共に廢止され新統治機關の更設さるべき時なり若し夫れ韓國行政整理の必要より言へば他に幾多の不要機關存在するを見るべし彼の理事廳の必要不必要論の如きは日韓關係の現勢に想到せざるものにして苟くも外國的關係を有する間は先づ廢止不可能と見て差支なかるべし云々(某大官談)

民籍調査の終了

昨年七月より內部警務局に於て着手したる全國の民籍調査は一箇年を經て此程漸く終了したるが是れ最近の調査にして最も正確のものとす今警務顧問時代の調査と比較すれば戶數に於て四十萬八千三百五十一戶人口に於て三百十七萬八千三百八人を增加したる割にして其區別左の如し

道名		顧問時代の調査	警務局調査
黃海	人口	九〇一、〇九九	九五八、八五二
	戶數	二〇八、四五六	二二六、四五五
平北	同	六〇〇、一一九	九六六、七四二
	同	一三八、九七一	一八一、九三一
平南	同	六八九、〇一七	八八四、〇一一
	同	一四六、一四四	一八八、三三六
咸北	同	三九〇、〇四五	四三五、一四三
	同	七二、九二五	七九、三〇四
咸南	同	五八二、四六三	八五〇、八九六
	同	一二七、〇七六	一五九、四四七
江原	同	六二七、八三三	七七四、四四七
	同	一三八、九七四	一五八、六一五
慶南	同	一、一二〇、二一四	一、三六五、〇七九
	同	二八四、八一七	二九一、五九二
慶北	同	一、〇六三、九九一	一、五三〇、一六四
	同	二七四、三三八	三三八、九六四
全南	同	八五〇、六二五	一、五〇〇、六〇九
	同	二三五、五三〇	三三三、八八六
全北	同	五五七、三九三	九四八、三五一
	同	一五七、四一二	二〇五、八九一
忠南	同	六四九、七五六	八七四、六三二
	同	一六四、九六五	一九四、三六六
忠北	同	四九一、七一七	五三三、三三六
	同	一一五、九三九	一三一、〇〇四
京畿	同	八六九、〇二〇	一、一〇四、八〇四
	同	二一〇、一七六	二三六、八六一
元警視廳管內	人口	一九九、三三五	二三三、五九〇
	戶數	四六、三七四	五五、四〇三
合計		九、七八一、六七一	[illegible]
		二、三三三、〇八七	二、七四二、四三八

仁川の歡迎準備

寺內統監は豫定の如く軍艦八雲に下關より搭乘淀艦の護衛にて明廿三日仁川に來着する豫定なるが仁川居留民團に於ては海岸阜頭棧橋附近に綠門を設け煙火十一發を打揚ぐると共に民團商業兩議員衛生組員其他重なる官民は棧橋側に民團立仁川小學校四學年生以上は運輸部前埋立地に整列して歡迎の意を表する筈なり尙市內一般は固より國旗を掲げ橋本副理事官和田觀測所長宮木稅關長宮館警視岩崎民長民團商業兩會頭はランチにて軍艦八雲迄出迎べしと

副統監の水原行

山縣副統監は石井武官、中村農務局長を隨へて廿一日午前九時南大門發列車にて水原に行き觀察道勸業模範場農林學校等を巡視して八時十分着歸京せり

●漢江及臨津江增水

▲漢江 は數日來の降雨の爲め漸次增水し二十日午後三時には平水より一丈五尺を增加したり然れども家屋等の被害は未だなく韓人の言に依れば猶は五尺位增水する見込なり麻浦、鷺梁津、西氷庫の各渡場は交通に支障なし

▲臨津江 は平水より約三十尺增水し長湍郡、上濟面上高浪津分遣所の西約一丁許りの川邊に於て民家二棟浸水し猶は增水の見込にて兩今里、金川白寧、兎山間九ヶ場間は洪水の爲め交通杜絕したり

●有吉總務長官着任

有吉總務長官は二十一日午後八時十分南大門驛着入京し直に倭城臺官舍(前內部大臣官邸)に入れり停車場には石塚倉富、小宮、國分の各參與官明石憲兵

●花柳病と風紀取締 韓國に於ける壯丁の百に對する七は花柳病患者にして他に其比を見ざる所なるが是は殖民地の常として多數の醜業婦が害毒を流すに基因せるは勿論なるが總監部に於ては茲に注目し今後大に風紀の取締を勵行する事となり從來各署に於て或は之を許し或は許さゞりし酌婦及仲居の檢黴は今後一週間に一回必ず勵行し且つ張店又は公道に於て通行人に媚る等を嚴禁する事となり又韓國娼妓は毎月一回不定時に檢黴し來りしが今後は一ヶ月二回一日十五日に勵行する事に決したりと云ふ

●赤痢病大流行の兆 本年一月より現下に至る間咸鏡北道を除く外全道に亘り散發し就中平安北道江界寧邊龍岩浦地方殊に蔓延し江界邑內の如きは百四十七名の患者を出し內十三名の死亡者を出したるが昨今京畿露島等亦同患者散發しつゝあり而して昨今の強雨に各道各河川とも氾濫したるを以て此際大に衛生に注意せざれば全道赤痢の巷と化するも不計となし當局者は專ら之が豫防に盡し居れるが若し醫師にして赤痢を隱蔽するが如きものあれば嚴重に處罰する方針なりと

●馬山線浸水の減退 洛東江の增水は二十日午後六時に於て一丈四寸に減じ馬山線浸水の箇所は

●花柳病と風紀取締

韓國に於ける壯丁の百に對する七は花柳病患者にして他に其比を見ざる所なるが是は殖民地の常として多數の醜業婦が害毒を流すに基因せるは勿論なるが警務部に於ては茲に着目し今後大に風紀の取締を勵行する事となり從來各署に於て或は之を許し或は禁じありし醜業婦及仲居の檢黴は今後一週間に一回必ず施行し且つ張店又は公道に於て通行人に戲るゝ等を嚴禁し韓國娼妓は毎月一回不定時に檢黴し來りしが今後は一ヶ月二回十五日に一回行する事に決したりと云ふ

●赤痢病大流行の兆

本年一月より現下に至る間咸鏡北道を除く外全道に亘り散發し就中平安北道江界郡邊鵠岩浦地方に蔓延し江界郡內の如きは百四十三名の患者を出し內十三名の死亡者を出したるが昨今京畿道亦同患者續發しつゝあり而して昨今の强雨に各道各河川とも氾濫したるを以て此際大に衛生に注意せざれば全道赤痢の巷と化するも不計となし當局者は專ら之が豫防に盡し居れるが若し醫師にして赤痢を隱蔽するが如きものあれば嚴重に處罰する方針なりと

●馬山浦の減退

洛東江の增水は二十日午後六時に於て一丈四寸に減じ馬山線浸水の箇所は運轉居れりと水附近一帶の外は皆退水せしを以て直ちに修理を加へ列車の運轉に差支無し

●內部次官水原視察

宇佐美內部次官は二十一日午前武藤…水原に赴き京畿觀察道及水原郡廳を視察し即日歸京したり



學童と暑中休暇

小學校も暑中休暇になつたが子弟學童をして此の休暇を如何に利用せしめんかと云ふ事は毎年の事であるから學校職員側にも父兄側にも乾度成算があることゝは思ふが此の際思ひ浮んだ意見を述べるのも無用の事ではないと考へる、實際社會の事情に疎い教育者なぞの考へから割り出したる休暇利用法は一般の家庭に應用せられ難い事が多い、兎々角も教訓示要項には何時も無理な注文がある熊公八公の生活程度は顧みないで中流以上の理想的家庭狀態を標準として居る如くにも思はれる、是れは唯り小學校職員のみでない、家庭にも其の傾がある、……からフランネルの腹巻をさせろと云ふ風に說いてフランネルでなければ腹巻の働きをせぬかの如に說いて居る、是を聞いた兒童はフランネルでなければならぬ如く思ひ込んで毎日洗濯させられる淸潔な白布の腹巻でも五人も六人もの兒童を有する熊さん八つアんの負擔には少々重過ぎると云ふことは一切顧みない、左如なことは幾何もある、が、僕の暑中休暇利用法は貧乏人の子供にも少しも不便ならざる者になれば餘計に便益を得る程と云ふ方であるから確かに禮を云つて頂かなければならぬ、手前味噌を上げて置いて扨暑中休暇中に於ける父兄の注意すべきことを一言にして蔽へば兒童を怠けさせないことである、涼しい朝の間即ち五時より七時迄の二時間を溫習に宛てる、熟睡した後の氣分の善い時であるから最も復習に適當だと思ふ、七時半朝食、九時若くは十時迄街路の撒水及び遊戲、十一時より十二時迄自己の寢衣又はシーツの洗濯(男女とも長じたるものには父母や兄姉の分をも弟妹の監督旁々爲せる從つて時間は繰り延ばす)極幼きものには水鐵砲でも行らする、十二時半晝食、再び街路の撒水をなさしめ四時迄自由行動を採らしむ、五時迄室や宅の內外の掃除を分に應じて勤めしむる六時より七時に於て行水夜食八時若しくは九時の間に就寢と云ふ段取りだ、其所で食後戶外の遊戲又は運動中の出來事一切を秩序を立てしめて話させる、而して運動方面及び遊戲方面の危險な分子があつたら注意を與へる、玆に最も注意を要するは他家へ行つて食物を貰はぬ事 他家の子供が來ても食物を與へぬとだ、小遣を與へたら買つた品を一度家に持ち歸らすることである、僕が水を扱ふことを多く割り當てたのは水の少い京城であるから溜り水等へ入る事なからしめん用意である(ひの字)

此れに就き父兄の御意見を歡迎します、因つて以て兒童をして幸福に暑中休暇を利用せしめたいと思ふから

仁川 大神宮下の刄傷

▽斬られたのは知らぬ人

加害者は原籍廣島縣賀茂郡阿賀村平民土方職當時住所不定の桐川庄一(三九)と云へる前科數犯の曲者にして仁川切つての惡漢なるが被害者は熊本縣天草生れ當時仁川港繫留中の漁夫古川梅太郎(五三)と云へる者にして前記加害者とは何等の關係なく二十日夜仁川宮町三丁目大神宮下の理髮業鶴水角一方にて落合ひ店主及び知合の山口勇太郎と共に飲酒し一同熟醉して其場に轉び寢したる昨朝四時頃しも一應立出でし桐川はへゞレケに醉ひしれて立ち戾り熟眠せる店主角一の面部頭部の嫌なく蹴りて起きよと呼び酒を出せと迫りしものから堪忍袋の緖を切り起上るや否や八ケ間しいとばかりに屋外に押し出し內部より堅く戶を鎖したるが附き出される桐川は足許狂ひて隣家なる洋食店韓國亭の表硝子二枚を破りたり茲に於てか日頃の酒癖は勃々と起り前記理髮店の雨戶を破れよとばかり叩きたるに被害者の梅太郎が何心なく雨戶を開けた出合頭に桐川は一尺八寸餘の刀を以て同人に斬り附け其の血煙立てゝ打倒れしを見て花町方面に逃亡したるが一方被害者は血に塗れつゝ宮町派出所に訴出で保護を得て小倉病院に應急の手當を受けしが傷は前頭部一文字に三箇所の刀傷あるも生命には別條なしと加害者は宮町二丁目にて取押へ目下謀殺未遂犯として取調中なるが不幸にも捲添を喰ひし梅太郎こそ氣の毒なれ

金は拂はずキンを握る

▽亂暴な請負人が事

福岡縣人當時旭町一丁目百六十七番戶建築請負業遠藤孝兵衛(三九)は本年六月十日より獨立門通り京城監獄署工事請負中御成町五十番戶大工職渡邊安太郎を四日間使役し其の賃金を支拂はざりしより渡邊は七月十七日午後七時頃遠藤の居宅なる旭町一丁目大村保太氏方に至り支拂方催促せしに遠藤は不法にも貴樣等に支拂ふ金は一厘もない糞でも食へと暴言吐きしより爭論を起したるに家主大村氏は家內にて喧嘩は迷惑なれば外にてやれと云ひしより戶外に出で互に摑み合ひ上に下にと約二十分餘組み合ひしが遠藤は渡邊の睾丸を握み左陰囊睾丸共に赤色を呈し且つ右鼠蹊部上股部內面腫脹赤色を呈し疾病休業八日を要するに至らしめし廉にて檢事局に送らる

賣國嫌疑將校事件

▽長春にても機密地圖發見

去る十四日長春に於て捕はれたる野口大尉は曾て大阪中島旅館に投じたる時には目下天津にありて獸皮商を營める豫備陸軍二等主計大町市三と同伴し居たる由なるが大町は中島旅館に入らず他の旅館に投宿したり又中島屋には其以前より淸國の革命黨に通じ居れりと云ふ尾崎東京市長の弟尾崎行昌といふが投宿し居たれば其筋にては大尉が深く蒙古に入りて猛獸狩を行ふと稱し竊に銃器を買ひ集めんとしつゝある模樣あるを見或は右の銃器を革命黨に密賣する積りではなきかと毎日憲兵隊にて同人の行く先々へ兵卒を尾行せしめ居たりといふ因に同大尉は目下長春松村領事の手に於て一應の取調べを受け居れるが同地旅館の行囊中にも二百五十枚ばかりの機密地圖を隱匿し居たるよし思ふに之を見本として某國へ賣附の運動をなし居たるものならんかと

家計を苦にして縊死

▽精神に異狀を呈して

七月十九日午後十一時二十分頃本町一丁目裏通りに婦人の縊死者ありたる顚末を記せんに縊死者は元籍長崎縣佐世保市田原町二百八十番戶士族當時本町一丁目裏通り五十七番戶松田傳七妻松田もい(四八)にて同人は昨年十二月渡韓せし者なるが財政困難なるより精神に異狀を呈し本年二月六日午前二時頃六男悟(一二)を懷き井戶に身を投げ自殺を謀りたるも其際は幸に救護せられ蘇生したる事實あり其の後爾來精神鬱々として樂まず十九日夜の如きも何か思案の體にて就寢せざりしより夫傳吉は種々慰籍したり然るに彼れもいは傳吉が便所に至りたる隙を窺ひ居室溫突の梁に博多織細帶を掛け辨當箱を足臺にして頸部を緊縛し辨當箱を外し縊死を遂げたり夫傳七は大便に行き約二十分間を經過し歸室せしにもよが顏面蒼白に變し舌を吐き小量の泡を吹き大便を漏し縊切れ居るより吃驚仰天し狼狽して子供を呼び起し附近の者の救助を求め一方南部警署に急報せしより警官並に醫士現場へ出張檢視したりと

女振り

中原雜貨店主婦 中原こはな女

中原雜貨店とは明治町二丁目佛國教會堂前を永樂町一丁目に下りた所にある良人は韓國銀行の守衛をして居るのだ相だがれとはさん遊んで居るは勿體ないとあつて酒醬油米なぞも置いて雜貨店を經營して居るのだとか夫れであるから朝も早くから起き出でゝ荷物雜貨の買ひ出しから一切万事手一つに行る、中原君に對しても優しい痒い所へ手の屆くと云ふ行き方だ、女の働き者は御亭主の世話なぞに厭ふものである、彼の女髮結や產婆さんやの多くが良人よりも多く家庭に於て權力を有するのも即ち其の故であると云ふことは一般に認めらるゝ事實だ、とは云へ女は夫れを反對に行く、甚だしい教育を受けた譯でもあるまいが此れは資質であらう、然れば例へ世人の所謂教育がなくとも教育あるものと列んで人の妻として決して恥づる所はないのである、此の意味を以てとは女を紹介する所以である、長崎縣は諫早の產、本年二十五歲で二つになる廣太さんと云ふ年に比して頗る腕白息子がある、肯かない子は達者だとは昔しから言ひ來りだが夫れに違はぬ達者なものだ。

不埒な左官職人

▽韓人を毆打し巡査を罵る

山口縣下關市王寺町百七十七番地當時旭町二丁目百十二番戶左官職大山德松(四八)は七月十八日午後七時頃南大門通り會洞派出所に至り同所裏手韓人酒屋に一韓人が多額の金錢を所持し惜氣なく浪費する其の擧動頗る不審なれば一應取調べありては如何と密告せしを以て詰合の松永巡査現場へ出張韓人を派出所へ同行せしに大山も尾行し來り巡査が韓人を取調んとせしに大山は傍にありて突然韓人を毆打せしを以て石野巡査は其の不法を諭し所外に押し出したるに大山は巡査に對し貴樣は自分を引致せし故自分が之を取鬮ん貴樣如き平凡巡査の知る所なし此の馬鹿巡査と暴言を吐き再び所內に侵入せんとするより巡査は之を制せんとしたるに馬鹿野郞と巡査を毆打し職務の執行を妨害するのみか直ちに殺さす命の種を奪ひ取らん杯種々なる罵言を吐きし廉にて檢事局に送らる因に該韓人が多額の金錢を所持するは事實にて其出所も又不明なれば嚴重に取調中なりと

●觀世音入佛供養

京城花園町曹洞宗日韓禪寺にては今回觀音堂落成せしが同堂に安置すべき觀世音三十三體の尊像此程同寺に到着せしを以て本月二十三日より向ふ三晝夜の間其の入佛開眼供養を營むよしにて法要の順序は左の如くなりと而して說教は午後二時午後八時よりの二回なりと云ふ

二十三日 午後一時入佛開眼供養 夜間讃歌詠歌琵琶の餘興
二十四日 午後一時數佛法會 夜間同韓國僧侶の讀經
二十五日 午後一時大般若六百卷轉讀、夜間大施餓鬼會

因に韓國に於ける各宗寺院中大觀世音を守護したる所なければ先づ日韓禪寺を以て之れが嚆矢となす譯けなれば定めて參詣人多からむと

●微笑會 本日(金曜日)午後五時より初音町二丁目臨濟寺に於て圓山太嶺禪師の無盡燈論例會講演あり參聽隨意

龍山の電車開通祝

▽見たまゝ聞いたまゝ

京城の電鐵始まつて以來の大きな立派な新しき電車の前後に國旗を交叉して飾りたる其橫腹には來賓用と札を下げて南大門驛前は橫はれるに打跨むで停車せる古き電車の見窶らしさ譬へば鎭遠と三笠とを並べて見るが如し即ち其の三笠然たる新造の電車に乘れば腰掛の天鵞絨は新らしくヴアニスの臭も厭でなし小兒の折ら始めて三輪の自轉車に乘りし心地嬉しく車室內を見廻はせば見知れる顏の三つ五つ在る中に其の社の重役太兵衛山口君の莞爾々々然たるが見ゆ軈て電車はズッシリ重みある響を立てゝ軋り出で緩く軌條の上を辷る折から後押付の腕車にて駈着けし市原韓銀總裁は腕車を捨てゝ電車に乘り心地好げに車內を見廻はし「僞んなのなら乘つても宜い」と呟きつゝ山口君を見遣れば山口君は耳觸り好げに目を細む其他の乘合何れも顏見ある豪の者とて雜話類に湧く中を「此處に重役の居らるゝこそ仕合諸君は電車に對する不平も注文も勝手に提出するが可し」と市原韓銀燃ゆる火に油を注いだものなりワッ〳〵と云ふ間に電車は龍山新市街に入り道の兩側には男女立集ふて驀する電車を嬉しげに見物するは向後ガタ馬車に搖らるゝ心配無くなりたる爲めならん。間も無く電車は會社の龍山出張所前に停まれり吐き出されたる客人は其の玄關より入りて裏に拔け導かれて式場に到る式場は舍宅を其まゝの舞臺にして庭前に數十のベンチを据ゑたり前の丘には其處彼處模擬店をしつらへたり何がさて光の會社が夜の營み唯もう眩ゆきまでに光り輝く美しさ譬へんに言葉も無き程なるが夫れよりも美しかりしは藝妓の手踊り又夫れよりも一層鮮かなりしは岡崎社長が挨拶抜きの模擬店開始と出たる捌き振りやがて丘上にテント打ち廻らせる中より瀏喨として起る軍樂手が奏樂の音は耳熱せる幾多の紳士淑女と瓦斯の光りに遠慮無く美しう見ゆる藝妓の步調を浮かせたる其中に立交らう身の興は何時盡きるやうも無きにイザ罷らんと辭して門を出で再び例の三笠式電車に上るわれや時に醉眼朦朧たれども目前に碩學梅博士の溫容を見誤らんや相對して座せるは何某の法學士辯護士なり辯護士曰く「先生の方はもう明年は成文になつて出ますでせうか」ハハア民法だナと思ふ梅博士は「サア統監も交迭になりましたから……怎うなるでせうか」談愈々佳境に入るが如きも竊聞きは罪深しと强て聞かざらんとす去れど「私の知人が此の會社に關係して居ますから私は好意を以て見て居ますが、怎したものか東京では評判が惡るいですね」と耳に入りたるは是非も無しと諦めて後はムニャ〳〵乎として南大門に歸着せり矣

(目と耳)

●三面情歌(十八日本紙記事) 水賓生

▲淫賣婦の狡猾
警察鼠をば除る爲め
堅氣奉公するのも暫し

▲流船中の屈辱
口惜淚に身も此の船も
沈む思ひの胸のうち

▲可愛子供の旅
七つ八つから金山ならで
可愛い兒童が船の旅

▲歌舞伎座 宮岡天外一座の奇術

▲浪花館 今回木戶場代金十錢均一となしたる同館の番組左の如し 荒尾秀丸(浪花松朝)谷川武勇傳(吉田綾葉)筑前騷動(吉川秀政)越後院長兵衛(岡本伊之丸)いかるが平次の傳義士本傳通し(吉川秀廣)

▲壽座 新劇會我の家一座の代番組 御祝儀笑ひ福(一場)某新聞所載天理教(三場)芝濱の皮財布(三場)決闘(三場)クツデー(三場)

今日の運勢

●七月廿二日(舊六月十五日) 六白友引戊子執△一白盛運日大抵吉旅行婚禮其同組合の事を禁ず△二黑貸借金談婚姻傳に忌む其他都遊△三碧諸事手控への事尚保健衛生に留意すべし△四綠金品授受證券の事故障生じ易し衝突不和避くべし△五黃平穩の日大抵支障なし雇入及見據の事を爲すには吉△六白盜害紛失の恐れあり紛爭の端を釀す勿れ新事見合せの事△七赤爭論及證券の故障あり他人より容疑にあふあらん新事見合せの事△八白家畜從者子孫の事煩累あり其他吉△九紫取引貸借の事故障あり他人の身上に付き係累あり紛失防ぐべし(三ツ館判斷)

●天氣豫報(自廿一日午後六時至廿二日午後六時)
南西の風晴
二十日(華氏) 最高溫度七八、一 最低溫度六九、六